

1 本校のOJT

- OJT の位置付け
「学校教育目標の具現化を図るための手立ての一つ」・・・4月の研究全体会で検討
「短い時間で」「日常的に」「これまでの取組の中で」・・・多忙化する学校課題を超えて
ベテランと若手の学び合い・・・職員構成が二極化する中、互いの学び合いの場の確保
実践的指導力に直結する学び合いの場・・・教えたい、教えて欲しいのマッチング
- 4つのOJT実践の場
「15分ミニ研修OJT」 「学年部OJT」 「校内研究OJT」 「紙上OJT」

ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは**研究主任**
- **共に学び合う関係**を築くために
 - ① 教えたいことアンケートの実施・・・全員がミニ研修の講師となるために
 - ② 授業検討会の工夫・改善・・・教育センター提案の五つの検討会スタイルから
 - ③ 教員のニーズ・必要感のある研修のリサーチ・・・ミニ研修への取り入れ
 - ④ 学び合いが生まれる話題提供・・・OJTの日常化へ向けて
- 教師一人一人の**振り返り**のために
 - ① **OJT年間シート**・・・ミニ研修の相互評価の場の設定
 - ② **学び合いカード**・・・ミニ研修終了後に参加者が記入、講師役の教員へ
 - ③ **OJT後の聞き取り**・・・互いのよさの認め合いと学び合う意識の向上を目指して

学び合いの意識化

- 自分なりの目標設定と定期的な振り返りによる目標と評価の一体化
OJT実践シートを活用して
- 一人1講座の設定による「何を伝えられるのか」の意識化
15分ミニ研修で全員が講師を担当することで
- 自分事としての授業研究による、次の授業につなげようとする意識付け
一人1授業公開と**授業検討会の工夫・改善**をとおして
- ミニ研修終了後の「**学び合いカード**」による、講師への励ましとねぎらい